

# 水の文化

平成11年1月 創刊号

「ごあいさつ」 ミツカン水の文化センター代表 中埜和英

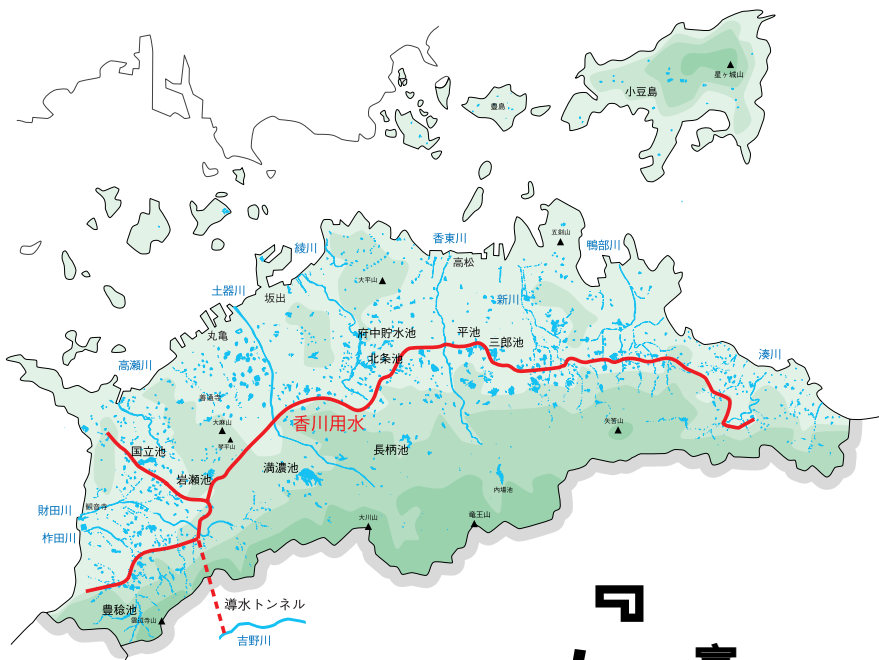
富山和子「水の文化」とは何か 第1回

## 『ため池文化〈香川〉』

### 融通の智慧

平成6年大干ばつ 何が都市を救ったか

「日本の文化は水との緊張の文化である」「こつ唱えてきた富山和子氏が香川を訪れ、ため池文化の現場を歩きます。『平六濁水』でクローズアップされた農村の智慧、そして水をめぐる都市と農村の関わりは都会人が忘れてしまった「水」とのつきあい方を考えさせます。」



# 『舟運を通して』

## 都市の水の文化を探る』(1)

陣内秀信

岡本哲志

“水の視点”から都市の見直しを進めてきた陣内秀信、岡本哲志の両氏による「一乗谷・福井・三国」のフィールドワークを紹介します。これら都市の生成と舟運ネットワークの立体的な関係が、丹念な現地調査により現代に姿を現します。



江戸図屏風 国立歴史民俗博物館蔵  
『江戸図屏風』(複製)  
河内書房新社 1993年(2)

### 『ミツカン水の文化センター』概要

研究活動・ライブラリー